

令和2年7月16日

北杜市長 渡辺英子様

北杜市特別職報酬等審議会  
会長 氏原宏幸



北杜市議会議員の議員報酬について（答申）

令和2年6月3日付け北杜人事第108号で意見を求められた標記の件については、審議の結果を別紙のとおり答申します。

本答申は、慎重に審議を重ねた結果であり、貴職におかれては、これを十分に尊重されるように求めます。

北杜市議会議員の議員報酬について（別紙答申）

## 答 申

### 1 北杜市議会議員の議員報酬について

北杜市議会議員の議員報酬の額については次のとおりとします。

(単位：円／月額)

	現行額	答申額	比較
議 長	330,000	370,000	40,000
副議長	300,000	340,000	40,000
議 員	280,000	330,000	50,000

### 2 北杜市特別職報酬等審議会の開催状況について

第1回審議会 令和2年6月 3日

第2回審議会 令和2年6月10日

第3回審議会 令和2年7月 1日

### 3 審議の経過について

北杜市特別職報酬等審議会（以下「審議会」という。）は、北杜市合併以後、初めて設置されました。審議会では、事務局から提出された資料及び審議会が要求した資料を基に慎重な審議を行いました。

議員定数の沿革を見ると、平成16年11月の北杜市誕生時点の37人から始まり、平成18年3月の小淵沢町との合併により42人となり、平成20年11月からは22人へと改定され、現在に至っております。

直近では、令和2年第1回北杜市議会定例会において議員発議により議員定数の改定が行われ、令和2年11月の改選時から20人とすることが決定されております。

審議の中で、市議会自らの改革により次の選挙から定数を2人削減することで議員1人当たりの責任がこれまで以上に増すことが見込まれること、県内市や全国と同規模自治体の議員報酬と比較して妥当な水準とすること、幅広い層の人材が議員になろうという意欲を持つことができること、専門性が求められる議員活動に専念しながら生活が成り立つ議員報酬の額とすべきこと、との意見がありました。

議員報酬については、過去の議員定数改定時に見直す機会があったものの、財政健全化のため、市長等特別職の給料や職員の管理職手当の削減に取り組んでいたことから検討が行われなかったこと、また、峡北地域合併協議会と当時の各町村議会での検討を経て、現在の議員報酬が決定された経過を踏まえ、諮問された議員報酬について妥当と判断いたしました。

#### 4 附帯意見

現在、緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、市民生活も平常時とは異なる新たな生活様式を余儀なくされているところでもあります。市民すべてが、これまでにない不安やストレスにより疲弊する状況において、議員報酬の改定には、市民の理解を求めていく必要があると考えます。

令和2年第1回北杜市議会臨時会において、市長、副市長及び教育長にあつては給料月額の減額措置を講じ、議会においては議長7パーセント、副議長6パーセント、議員5パーセントの議員報酬の減額措置を行い、新型コロナウイルス感染症対策へ取り組む姿勢は、市民の理解が得られる対応であると思われます。

今回の諮問に対しては、妥当であると答申いたしましたが、引き続き市民に寄り添った対応をご検討いただきますことを申し添えます。